
算定対象活動・排出係数の見直しについて（案）

令和4年12月16日

事務局

算定対象活動・排出係数の見直しについて

- 資料 1 – 1 中の算定対象活動の見直し方針に沿って、SHK制度の算定対象活動をP 4～P17のとおり見直すこととしてはどうか。
- また、P 4～P17に示す見直しを受け、新たな算定対象活動・算定式・排出係数は、P18～P54に示すもののようにし、令和 6 年報告（=令和 5 年度排出量を算定・報告）から適用することとしてはどうか。
- ただし、P 4～P17に示す見直し内容及びP18～P54に示す新たな算定対象活動・算定式・排出係数は、現在、事務局において精査を続けているとともに、関係事業者等にご意見を照会しているものであり、確定したのではない。

【参考】 現行SHK制度の算定対象活動（1 / 2）

- SHK制度の算定対象活動は、国家インベントリの算定対象活動を踏まえて、以下のとおり規定されている。

エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)
燃料の使用
他人から供給された電気の使用
他人から供給された熱の使用

非エネルギー起源二酸化炭素 (CO ₂)
原油又は天然ガスの試掘
原油又は天然ガスの性状に関する試験の実施
原油又は天然ガスの生産
セメントの製造
生石灰の製造
ソーダ石灰ガラス又は鉄鋼の製造
ソーダ灰の製造
ソーダ灰の使用
アンモニアの製造
シリコンカーバイドの製造
カルシウムカーバイドの製造
エチレンの製造
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用
電気炉を使用した粗鋼の製造
ドライアイスの使用
噴霧器の使用
廃棄物等の焼却もしくは製品の製造の用途への使用・廃棄物燃料の使用

メタン (CH ₄)
燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用
電気炉における電気の使用
石炭の採掘
原油又は天然ガスの試掘
原油又は天然ガスの性状に関する試験の実施
原油又は天然ガスの生産
原油の精製
都市ガスの製造
カーボンブラック等化学製品の製造
家畜の飼養（消化管内発酵）
家畜の排せつ物の管理
稲作
農業廃棄物の焼却
廃棄物の埋立処分
工場廃水の処理
下水、し尿等の処理
廃棄物等の焼却もしくは製品の製造の用途への使用・廃棄物燃料の使用

【参考】 現行SHK制度の算定対象活動（2/2）

一酸化二窒素（N₂O）

燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用
原油又は天然ガスの性状に関する試験の実施
原油又は天然ガスの生産
アジピン酸等化学製品の製造
麻酔剤の使用
家畜の排せつ物の管理
耕地における肥料の使用
耕地における農作物の残さの肥料としての使用
農業廃棄物の焼却
工場廃水の処理
下水、し尿等の処理
廃棄物等の焼却もしくは製品の製造の用途への使用・廃棄物燃料の使用

ハイドロフルオロカーボン（HFC）

クロロジフルオロメタン(HCFC-22)の製造
ハイドロフルオロカーボン（HFC）の製造
家庭用電気冷蔵庫等HFC封入製品の製造におけるHFCの封入
業務用冷凍空気調和機器の使用開始におけるHFCの封入
業務用冷凍空気調和機器の整備におけるHFCの回収及び封入
家庭用電気冷蔵庫等HFC封入製品の廃棄におけるHFCの回収
プラスチック製造における発泡剤としてのHFCの使用
噴霧器及び消火剤の製造におけるHFCの封入
噴霧器の使用
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるHFCの使用
溶剤等の用途へのHFCの使用

パーフルオロカーボン（PFC）

アルミニウムの製造
パーフルオロカーボン（PFC）の製造
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるPFCの使用
溶剤等の用途へのPFCの使用

六ふっ化硫黄（SF₆）

マグネシウム合金の鋳造
六ふっ化硫黄（SF ₆ ）の製造
変圧器等電気機械器具の製造及び使用の開始におけるSF ₆ の封入
変圧器等電気機械器具の使用
変圧器等電気機械器具の点検におけるSF ₆ の回収
変圧器等電気機械器具の廃棄におけるSF ₆ の回収
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるSF ₆ の使用

三ふっ化窒素（NF₃）

三ふっ化窒素（NF ₃ ）の製造
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるNF ₃ の使用

エネ起CO₂の主な算定対象活動の見直し案

【エネルギー起源二酸化炭素（エネ起CO₂）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動（排出区分）	備考
「FCCコークの使用」を追加する。	1.エネルギー分野 A.燃料の燃焼	—
「練炭・豆炭の使用」を追加する。	1.エネルギー分野 A.燃料の燃焼	—
「潤滑油の使用」を追加する。	1.エネルギー分野 A.燃料の燃焼	—
省エネ法改正を踏まえ、「廃棄物の燃料利用」及び「廃棄物燃料（廃棄物を原材料とする燃料）の使用」を追加する。	1.エネルギー分野 A. 廃棄物が原燃料として直接利用される場合 A. 廃棄物が燃料に加工された後に利用される場合	<ul style="list-style-type: none"> ● これまで非エネ起CO₂の算定対象活動であったものをエネ起CO₂の算定対象活動に移動する趣旨。 ● 具体的に算定対象とする廃棄物及び廃棄物燃料は、改正省エネ法の詳細設計も踏まえて今後決定する。

※ 社用車・公用車におけるエネルギーの使用についても、法技術面での調整が整い次第速やかに算定対象に追加する。

※ 建設現場（建設機械）におけるエネルギーの使用についても、算定対象への追加に関して検討していく。

非エネルギー起CO₂の主な算定対象活動の見直し案（1/6）

【非エネルギー起源二酸化炭素（非エネルギー起CO₂）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動（排出区分）	備考
「石炭の採掘」を追加する。	1.エネルギー分野 B.燃料からの漏出 1.固体燃料 a.石炭採掘	現行でも、「石炭の採掘」に伴うメタン（CH ₄ ）の排出は算定対象。
「原油の輸送」を追加する。	1.エネルギー分野 B.燃料からの漏出 2.石油・天然ガス等 a.石油 iii.輸送	—
「地熱発電」を追加する。	1.エネルギー分野 B.燃料からの漏出 2.石油・天然ガス等 d. その他（地熱発電における蒸気の生産に伴う漏出）	—
「セメントの製造」「生石灰の製造」「ソーダ石灰ガラスの製造」「鉄鋼の製造」「耕地における肥料の使用」以外のプロセス・用途での石灰石又はドロマイトの使用として、「その他用途での石灰石の使用」及び「その他用途でのドロマイトの使用」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 A.鉱物産業 4.その他プロセスでの炭酸塩の使用 a.セラミックス製品 c.マグネシア製造 d.その他	—

非エネルギー起CO₂の主な算定対象活動の見直し案（2/6）【非エネルギー起源二酸化炭素（非エネルギー起CO₂）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動（排出区分）	備考
「ルチル型二酸化チタンの製造」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 B.化学産業 6.二酸化チタン製造	—
「1,2-ジクロロエタンの製造」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 B.化学産業 8.石油化学及びカーボンブラック製造 c.1,2-ジクロロエタン及びクロロエチレン製造	—
「酸化エチレンの製造」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 B.化学産業 8.石油化学及びカーボンブラック製造 d.酸化エチレン製造	—
「アクリロニトリルの製造」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 B.化学産業 8.石油化学及びカーボンブラック製造 e.アクリロニトリル製造	—
「カーボンブラックの製造」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 B.化学産業 8.石油化学及びカーボンブラック製造 f.カーボンブラック製造	—

非エネルギー起CO₂の主な算定対象活動の見直し案（3/6）【非エネルギー起源二酸化炭素（非エネルギー起CO₂）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動（排出区分）	備考
「無水フタル酸の製造」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 B.化学産業 8.石油化学及びカーボンブラック製造 g.無水フタル酸製造	—
「無水マレイン酸の製造」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 B.化学産業 8.石油化学及びカーボンブラック製造 g.無水マレイン酸製造	—
「水素の製造」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 B.化学産業 8.石油化学及びカーボンブラック製造 g.水素製造	本算定対象活動は、水素そのものを得ることを目的とした場合を対象とするものであり、石油精製時やエチレン製造時の副生水素やアンモニア製造のために製造される水素は対象外。
「電気炉を使用した粗鋼の製造」を「電気炉（製鉄用、製鋼用、合金鉄製造用、カーバイド製造用）における炭素電極の使用」とし、粗鋼製造用途以外の電気炉も算定対象とする。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 C.金属産業 1.鉄鋼製造 a.鉄鋼製造における電気炉の使用	—

非エネルギー起CO₂の主な算定対象活動の見直し案（4/6）

【非エネルギー起源二酸化炭素（非エネルギー起CO₂）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動 (排出区分)	備考
「鉄鋼の製造における副生ガスのフレアリング」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 C.金属産業 1.鉄鋼製造 b.鉄鋼製造における副生ガスのフレアリングからの排出	—
「潤滑油等の使用」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 D.燃料からの非エネルギー製品及び溶剤の使用 1.潤滑油の使用 2.パラフィンろうの使用	「潤滑油等」として、「潤滑油」「グリース」「パラフィンろう」を想定。
「非メタン揮発性有機化合物（NMVOC）を含む溶剤の焼却」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 D.燃料からの非エネルギー製品及び溶剤の使用 3.NMVOCの焼却	—
「炭酸ガスボンベ等CO ₂ 封入製品の製造におけるCO ₂ の封入」を追加する。	※ 国家インベントリでは、炭酸ガス等として使用するために回収されたCO ₂ についても、そのCO ₂ の発生源の排出区分で計上する（=回収分も当該区分における排出量から控除しない）ため、製品に封入する際の排出（漏えい分）に直接的に該当する国家インベントリ上の排出区分は存在しない。	—

非エネルギー起CO₂の主な算定対象活動の見直し案（5/6）【非エネルギー起源二酸化炭素（非エネルギー起CO₂）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動 (排出区分)	備考
「ドライアイスの製造」を追加する。	※ 国家インベントリでは、ドライアイスとして使用するために回収されたCO ₂ についても、そのCO ₂ の発生源の排出区分で計上する（=回収分も当該区分における排出量から控除しない）ため、ドライアイスの製造時の排出に直接的に該当する国家インベントリ上の排出区分は存在しない。	—
「噴霧器の使用」を「噴霧器等CO ₂ 封入製品の使用」とし、噴霧器以外のCO ₂ 封入製品の使用時のCO ₂ 排出も算定対象とする。	※ 国家インベントリでは、噴霧器等に封入するために回収されたCO ₂ についても、そのCO ₂ の発生源の排出区分で計上する（=回収分も当該区分における排出量から控除しない）ため、CO ₂ 封入製品の使用に伴う排出に直接的に該当する国家インベントリ上の排出区分は存在しない。	—
「耕地における肥料の使用」を追加する。	3.農業分野 G.石灰施用 H.尿素施用	「肥料」として、「炭酸カルシウム」「ドロマイト」「尿素肥料」を想定。
省エネ法改正を踏まえ、「廃棄物の燃料利用」及び「廃棄物燃料（廃棄物を原材料とする燃料）の使用」を削除する。	1.エネルギー分野 A. 廃棄物が原燃料として直接利用される場合 A. 廃棄物が燃料に加工された後に利用される場合	これまで非エネルギー起CO ₂ の算定対象活動であったものをエネルギー起CO ₂ の算定対象活動に移動する趣旨。

非エネルギー起CO₂の主な算定対象活動の見直し案（6/6）【非エネルギー起源二酸化炭素（非エネルギー起CO₂）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動 (排出区分)	備考
「廃棄物の焼却」について、算定対象とする廃棄物として、「紙くず（一般廃棄物）」「紙おむつ（一般廃棄物）」「紙くず（産業廃棄物）」を追加する。	5.廃棄物分野 C.廃棄物の焼却と野焼き 1.廃棄物の焼却（エネルギー回収を伴わない）	—

メタンの主な算定対象活動の見直し案（1/2）

【メタン（CH₄）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動 (排出区分)	備考
「木炭の製造」を追加する。	1.エネルギー分野 B.燃料からの漏出 1.固体燃料 b.固体燃料転換	—
「原油の輸送」を追加する。	1.エネルギー分野 B.燃料からの漏出 2.石油・天然ガス等 a.石油 iii.輸送	—
「天然ガスの輸送」を追加する。	1.エネルギー分野 B.燃料からの漏出 2.石油・天然ガス等 b.天然ガス iv.輸送	—
「都市ガスの供給」を追加する。	1.エネルギー分野 B.燃料からの漏出 2.石油・天然ガス等 b.天然ガス v.供給	—

メタンの主な算定対象活動の見直し案（2/2）

【メタン（CH₄）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動（排出区分）	備考
「地熱発電」を追加する。	1.エネルギー分野 B.燃料からの漏出 2.石油・天然ガス等 d.その他（地熱発電における蒸気の生産に伴う漏出）	—
「カーボンブラック等化学製品の製造」について、算定対象とする化学製品として、「1,2-ジクロロエタン」「メタノール」を削除し、「酸化エチレン」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 B.化学産業 8.石油化学及びカーボンブラック製造 a.メタノール製造 c.1,2-ジクロロエタン及びクロロエチレン製造 d.酸化エチレン製造	—
「廃棄物の堆肥化处理」を追加する。	5.廃棄物分野 B.固形廃棄物の生物処理 1.コンポスト化	—

一酸化二窒素の主な算定対象活動の見直し案

【一酸化二窒素 (N₂O)】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動（排出区分）	備考
「木炭の製造」を追加する。	1.エネルギー分野 B.燃料からの漏出 1.固体燃料 b.固体燃料転換	—
「アジピン酸等化学製品の製造」について、算定対象とする化学製品として、「カプロラクタム」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 B.化学産業 4.カプロラクタム、グリオキサール、グリオキシル酸製造 a.カプロラクタム	—
「半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるN ₂ Oの使用」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 G.その他製品の製造及び使用 3.製品の使用からのN ₂ O b.半導体・液晶製造工程における利用	—
「森林における肥料の使用」を追加する。	4.土地利用、土地利用変化及び林業分野 (I).施肥に伴うN ₂ O排出	—
「廃棄物の堆肥化处理」を追加する。	5.廃棄物分野 B.固形廃棄物の生物処理 1.コンポスト化	—

ハイドロフルオロカーボンの主な算定対象活動の見直し案 (1/2)

【ハイドロフルオロカーボン (HFC)】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動 (排出区分)	備考
「マグネシウム合金の鋳造」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 C.金属産業 4.マグネシウム製造	現行でも、「マグネシウム合金の鋳造」に伴う六ふっ化硫黄 (SF ₆) の排出は算定対象。
「家庭用電気冷蔵庫等HFC封入製品の製造におけるHFCの封入」のうち、「家庭用電気冷蔵庫の製造」を削除する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 F.オゾン層破壊物質の代替としての製品の使用 1.家庭用冷蔵庫の製造・使用・廃棄	—
「家庭用電気冷蔵庫等HFC封入製品の廃棄におけるHFCの回収」のうち、「自動車用エアコンディショナーの廃棄」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 F.オゾン層破壊物質の代替としての製品の使用 1.輸送機器用空調機器の製造・使用・廃棄	—
「プラスチック製造における発泡剤としてのHFCの使用」について、算定対象とするプラスチックから、「押出法ポリスチレンフォーム」を削除する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 F.オゾン層破壊物質の代替としての製品の使用 2.押出発泡ポリスチレンフォーム	—

ハイドロフルオロカーボンの主な算定対象活動の見直し案（2/2）

【ハイドロフルオロカーボン（HFC）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動 (排出区分)	備考
「噴霧器及び消火剤の製造におけるHFCの封入」のうち、「消火剤の製造」を削除する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 F.オゾン層破壊物質の代替としての製品の使用 3.消火剤	—

パーフルオロカーボンの主な算定対象活動の見直し案

【パーフルオロカーボン（PFC）】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動 (排出区分)	備考
「アルミニウムの製造」を削除する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 C.金属産業 3.アルミニウム製造	—
「光電池の製造におけるPFCの使用」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 E.電子産業 3.太陽光発電	—
「鉄道用シリコン整流器の廃棄」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 G.その他製品の製造及び使用 2.鉄道用シリコン整流器	—

六ふっ化硫黄の主な算定対象活動の見直し案

【六ふっ化硫黄 (SF₆)】

見直し内容	該当する国家インベントリ上の算定対象活動 (排出区分)	備考
「粒子加速器の使用」を追加する。	2.工業プロセス及び製品の使用分野 G.その他製品の製造及び使用 2.加速器	—

新たな算定対象活動・算定式・排出係数 案

※赤字は現行からの変更箇所

工ネ起CO₂の算定対象活動・算定式・排出係数案（1/3）

算定対象活動	算定式	排出係数 ※「燃料の使用」については、「燃料種別の発熱量×燃料種別の炭素排出係数×44/12」で算出した値			燃料種別の発熱量		燃料種別の炭素排出係数	
		区分	単位	値	単位	値	単位	値
燃料の使用	(燃料種ごとに) 燃料使用量× 単位使用量当たりの発熱量×単 位発熱量当たりの炭素排出量 ×44/12	原料炭	tCO ₂ /t	2.59	GJ/t	28.74	tC/GJ	0.0246
		一般炭	tCO ₂ /t	2.32	GJ/t	26.08	tC/GJ	0.0243
		無煙炭	tCO ₂ /t	2.64	GJ/t	27.80	tC/GJ	0.0259
		コークス	tCO ₂ /t	3.18	GJ/t	29.01	tC/GJ	0.0299
		石油コークス	tCO ₂ /t	2.99	GJ/t	33.29	tC/GJ	0.0245
		FCCコーク	tCO ₂ /t	2.99	GJ/t	33.29	tC/GJ	0.0245
		練炭、豆炭	tCO ₂ /t	2.27	GJ/t	23.90	tC/GJ	0.0259
		コールタール	tCO ₂ /t	2.86	GJ/t	37.26	tC/GJ	0.0209
		石油アスファルト	tCO ₂ /t	2.99	GJ/t	40.00	tC/GJ	0.0204
		コンデンセート (NGL)	tCO ₂ /kL	2.33	GJ/kL	34.79	tC/GJ	0.0183
		原油 (コンデンセート (NGL) を除く。)	tCO ₂ /kL	2.67	GJ/kL	38.26	tC/GJ	0.0190
		ガソリン	tCO ₂ /kL	2.29	GJ/kL	33.36	tC/GJ	0.0187
		ナフサ	tCO ₂ /kL	2.27	GJ/kL	33.31	tC/GJ	0.0186
		ジェット燃料油	tCO ₂ /kL	2.48	GJ/kL	36.30	tC/GJ	0.0186
		灯油	tCO ₂ /kL	2.50	GJ/kL	36.49	tC/GJ	0.0187
軽油	tCO ₂ /kL	2.62	GJ/kL	38.04	tC/GJ	0.0188		

工ネ起CO₂の算定対象活動・算定式・排出係数案（2/3）

算定対象活動	算定式	排出係数 ※「燃料の使用」については、“燃料種別の発熱量×燃料種別の炭素排出係数×44/12”で算出した値			燃料種別の発熱量		燃料種別の炭素排出係数	
		区分	単位	値	単位	値	単位	値
燃料の使用	(燃料種ごとに) 燃料使用量 ×単位使用量当たりの発熱量 ×単位発熱量当たりの炭素排出量×44/12	A重油	tCO ₂ /kL	2.75	GJ/kL	38.90	tC/GJ	0.0193
		B・C重油	tCO ₂ /kL	3.09	GJ/kL	41.78	tC/GJ	0.0202
		潤滑油	tCO ₂ /kL	2.93	GJ/kL	40.20	tC/GJ	0.0199
		液化石油ガス (LPG)	tCO ₂ /t	2.99	GJ/t	50.08	tC/GJ	0.0163
		石油系炭化水素ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	2.44	GJ/1,000Nm ³	46.12	tC/GJ	0.0144
		液化天然ガス (LNG)	tCO ₂ /t	2.79	GJ/t	54.70	tC/GJ	0.0139
		天然ガス (液化天然ガス (LNG) を除く。)	tCO ₂ /1,000Nm ³	1.96	GJ/1,000Nm ³	38.38	tC/GJ	0.0139
		コークス炉ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	0.73	GJ/1,000Nm ³	18.38	tC/GJ	0.0109
		高炉ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	0.31	GJ/1,000Nm ³	3.231	tC/GJ	0.0264
		転炉ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	1.16	GJ/1,000Nm ³	7.528	tC/GJ	0.0420
		都市ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	各都市ガス供給事業者ごとの数値	GJ/1000Nm ³	各都市ガス供給事業者ごとの数値	tCO ₂ /1,000Nm ³	各都市ガス供給事業者ごとの数値
			tCO ₂ /1,000Nm ³	2.06	GJ/1,000Nm ³	39.96	tC/GJ	0.0140
		廃ゴムタイヤ	tCO ₂ /t	1.641	GJ/t	33.20	tCO ₂ /GJ	0.0135

工ネ起CO₂の算定対象活動・算定式・排出係数案（3 / 3）

算定対象活動	算定式	排出係数 ※「燃料の使用」については、「燃料種別の発熱量×燃料種別の炭素排出係数×44/12」で算出した値			燃料種別の発熱量		燃料種別の炭素排出係数	
		区分	単位	値	単位	値	単位	値
燃料の使用	(燃料種ごとに) 燃料使用量×単位使用量当たりの発熱量×単位発熱量当たりの炭素排出量×44/12	プラスチック（一般廃棄物、産業廃棄物）	tCO ₂ /t	2.567	GJ/t	29.30	tCO ₂ /GJ	0.0239
		廃油（植物性のもので動物性のものを除く。）、廃油（植物性のもので動物性のものを除く。）から製造される燃料油	tCO ₂ /kL	2.630	GJ/kL	40.20	tC/GJ	0.0178
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く。）	tCO ₂ /kL	2.622	GJ/kL	38.04	tC/GJ	0.0188
		ごみ固形燃料（RPF）	tCO ₂ /t	1.501	GJ/t	26.88	tC/GJ	0.0152
		ごみ固形燃料（RDF）	tCO ₂ /t	1.121	GJ/t	18.00	tC/GJ	0.0170
他人から供給された電気の使用	電気使用量×単位使用量当たりの排出量	各電気事業者	tCO ₂ /kWh	各電気事業者ごとの数値	-	-	-	-
他人から供給された熱の使用	熱使用量×単位使用量当たりの排出量	各熱供給事業者	tCO ₂ /GJ	各熱供給事業者ごとの数値	-	-	-	-
		産業用蒸気	tCO ₂ /GJ	0.060	-	-	-	-
		蒸気（産業用のものは除く。）、温水、冷水	tCO ₂ /GJ	0.053	-	-	-	-

非工ネ起CO₂の算定対象活動・算定式・排出係数案（1/5）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
石炭の採掘	坑内掘生産量×（排出される時期ごとに）単位生産量当たりの排出量	坑内掘における採掘時	tCO ₂ /t	0.000037
		坑内掘における採掘後の工程時	tCO ₂ /t	0.000040
	露天掘生産量×（排出される時期ごとに）単位生産量当たりの排出量	露天掘における採掘時	tCO ₂ /t	0.000019
		露天掘における採掘後の工程時	tCO ₂ /t	0.000016
原油又は天然ガスの試掘	試掘された坑井数×単位井数当たりの排出量	—	tCO ₂ /井数	0.000028
原油又は天然ガスの性状に関する試験の実施	性状に関する試験が行われた井数×単位実施井数当たりの排出量	—	tCO ₂ /井数	5.7
原油又は天然ガスの生産	原油（コンデンセートを除く。）生産量×単位生産量当たりの排出量	生産時の通気弁	tCO ₂ /kL	0.000095
		生産時の通気弁以外の施設（陸上）	tCO ₂ /kL	0.00013
		生産時の通気弁以外の施設（海上）	tCO ₂ /kL	0.00000043
		随伴ガスの焼却を行う場合	tCO ₂ /kL	0.041
	天然ガス生産量×単位生産量当たりの排出量	生産時の通気弁	tCO ₂ /Nm ³	0.00013
		生産時の通気弁以外の施設（陸上）	tCO ₂ /Nm ³	0.00000082
		生産時の通気弁以外の施設（海上）	tCO ₂ /Nm ³	0.00000014
		生産時の成分調整等の処理施設	tCO ₂ /Nm ³	0.00000024
		天然ガスの採取時に随伴ガスの焼却を行う場合	tCO ₂ /Nm ³	0.0000012
		天然ガスの処理時に随伴ガスの焼却を行う場合	tCO ₂ /Nm ³	0.0000018
	生産された坑井数×単位井数当たりの点検に伴う排出量	—	tCO ₂ /井数	0.00048

非工ネ起CO₂の算定対象活動・算定式・排出係数案（2/5）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
原油の輸送	原油輸送量×単位輸送量当たりの排出量	原油（パイプライン）	tCO ₂ /kL	0.00000049
		原油（タンクローリー、タンク貨車）	tCO ₂ /kL	0.0000023
		コンデンセート	tCO ₂ /kL	0.0000072
地熱発電	蒸気生産量×単位生産量当たりの排出量	—	tCO ₂ /t	0.0078
セメントの製造	セメントクリンカー製造量×単位製造量当たりの排出量	—	tCO ₂ /t	0.515
生石灰の製造	(原料種ごとに) 使用量×単位使用量当たりの排出量	石灰石	tCO ₂ /t	0.428
		ドロマイト	tCO ₂ /t	0.449
ソーダ石灰ガラスの製造	(原料種ごとに) 使用量×単位使用量当たりの排出量	石灰石	tCO ₂ /t	0.440
		ドロマイト	tCO ₂ /t	0.471
		ソーダ灰（国内産）	tCO ₂ /t	0.413
		ソーダ灰（輸入）	tCO ₂ /t	0.415
		炭酸バリウム	tCO ₂ /t	0.22
		炭酸カリウム	tCO ₂ /t	0.32
		炭酸ストロンチウム	tCO ₂ /t	0.30
鉄鋼の製造	(原料種ごとに) 使用量×単位使用量当たりの排出量	石灰石	tCO ₂ /t	0.440
		ドロマイト	tCO ₂ /t	0.471
ソーダ灰の製造	ソーダ灰の製造によるCO ₂ 使用量	—	—	—
ソーダ灰の使用	ソーダ灰使用量×単位使用量当たりの排出量	ソーダ灰の使用（国内産）	tCO ₂ /t	0.413
		ソーダ灰の使用（輸入）	tCO ₂ /t	0.415

非工ネ起CO₂の算定対象活動・算定式・排出係数案（3/5）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
その他用途での石灰石の使用	石灰石使用量×単位使用量当たりの排出量	石灰石	tCO ₂ /t	0.440
その他用途でのドロマイトの使用	ドロマイト使用量×単位使用量当たりの排出量	ドロマイト	tCO ₂ /t	0.471
アンモニアの製造	(原料種ごとに) 原料使用量×単位使用量当たりの排出量	石炭	tCO ₂ /t	2.32
		石油コークス	tCO ₂ /t	2.99
		液化天然ガス (LNG)	tCO ₂ /t	2.79
		天然ガス (液化天然ガス (LNG) を除く。)	tCO ₂ /1,000Nm ³	1.96
シリコンカーバイドの製造	石油コークス使用量×単位使用量当たりの排出量	—	tCO ₂ /t	2.30
カルシウムカーバイドの製造	カルシウムカーバイド製造量×単位製造量当たりの排出量	生石灰の製造	tCO ₂ /t	0.76
		生石灰の還元	tCO ₂ /t	1.09
エチレン等化学製品の製造	(製品の種類ごとに) 製品製造量×単位製造量当たりの排出量	ルチル型二酸化チタン (合成ルチルからの分離)	tCO ₂ /t	1.43
		ルチル型二酸化チタン (塩素法)	tCO ₂ /t	1.34
		エチレン (ナフサからの製造)	tCO ₂ /t	1.56
		エチレン (軽油からの製造)	tCO ₂ /t	2.06
		エチレン (エタンからの製造)	tCO ₂ /t	0.86
		エチレン (プロパンからの製造)	tCO ₂ /t	0.94
		エチレン (ブタンからの製造)	tCO ₂ /t	0.96
		エチレン (その他原料からの製造)	tCO ₂ /t	1.56
		1,2-ジクロロエタン	tCO ₂ /t	0.0647
		酸化エチレン	tCO ₂ /t	0.33
		アクリロニトリル	tCO ₂ /t	0.73
		カーボンブラック	tCO ₂ /t	2.06
		無水フタル酸	tCO ₂ /t	0.37
無水マレイン酸	tCO ₂ /t	1.06		

非工ネ起CO₂の算定対象活動・算定式・排出係数案（4/5）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
水素の製造	製造量×単位製造量当たりの排出量	—	tCO ₂ /Nm ³	0.00085
カルシウムカーバイドを原料としたアセチレンの使用	アセチレン使用量×単位使用量当たりの排出量	—	tCO ₂ /t	3.40
電気炉（製鉄用、製鋼用、合金鉄製造用、カーバイド製造用）における炭素電極の使用	炭素電極使用量×44/12	—	tCO ₂ /t	—
鉄鋼の製造における副生ガスのフレアリング	(ガス種ごとに) フレアリング量×単位フレアリング量当たりの排出量	高炉ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	0.31
		転炉ガス	tCO ₂ /1,000Nm ³	1.16
潤滑油等の使用	(製品の種類ごとに) 使用量×単位使用量当たりの排出量	潤滑油	tCO ₂ /kL	0.59
		グリース	tCO ₂ /t	0.15
		パラフィンろう	tCO ₂ /t	0.60
非メタン揮発性有機化合物（NMVOC）を含む溶剤の焼却	焼却量×単位焼却量当たりの排出量	—	tCO ₂ /t	2.35
炭酸ガスボンベ等二酸化炭素（CO ₂ ）封入製品の製造におけるCO ₂ の封入	CO ₂ 使用量－CO ₂ 封入量	—	—	—
ドライアイスの製造及び使用	ドライアイスの製造のために使用したCO ₂ 量－ドライアイスの出荷量	—	—	—
	ドライアイスとしてのCO ₂ 使用量	—	—	—
噴霧器等CO ₂ 封入製品の使用	CO ₂ 封入製品の使用によるCO ₂ 排出量	—	—	—
耕地における肥料の使用	(肥料の種類ごとに) 使用量×単位使用量当たりの排出量	炭酸カルシウム	tCO ₂ /t	0.440
		ドロマイト	tCO ₂ /t	0.477
		尿素肥料	tCO ₂ /t	0.733

非工ネ起CO₂の算定対象活動・算定式・排出係数案（5/5）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
廃棄物の焼却又は製品の製造の用途への使用	(炉種・廃棄物の種類ごとに) 焼却・使用量× 単位焼却・使用量当たりの排出量	ペットボトル（一般廃棄物）の焼却	tCO2/t	2.28
		コークス炉におけるプラスチック（一般廃棄物）の製品の製造の用途への使用	tCO2/t	1.47
		その他プラスチック（一般廃棄物）の焼却又は製品の製造の用途への使用	tCO2/t	2.82
		合成繊維（一般廃棄物）の焼却	tCO2/t	2.31
		紙くず（一般廃棄物）の焼却	tCO2/t	0.14
		紙おむつ（一般廃棄物）の焼却	tCO2/t	1.22
		廃油（産業廃棄物であって、植物性のもの及び動物性のもの並びに特定有害産業廃棄物を除く。）の焼却	tCO2/t	2.93
		廃油（特定有害産業廃棄物に限る。）の焼却	tCO2/t	1.02
		廃ゴムタイヤの製品の製造の用途への使用	tCO2/t	1.64
		合成繊維及び廃ゴムタイヤ以外の廃プラスチック類（産業廃棄物）の焼却又は製品の製造の用途への使用	tCO2/t	2.57
		紙くず（産業廃棄物）の焼却	tCO2/t	0.14

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案（1/12）

算定対象活動	算定式	排出係数			燃料種別の発熱量		炉種・燃料種別の排出係数	
		区分	単位	値	単位	値	単位	値
燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用	(燃料種・炉種ごとに) 燃料使用量×単位使用量当たりの発熱量×単位発熱量当たりの排出量	ボイラー（バイオマス燃料を除く固体燃料）	tCH ₄ /t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.00000013
		ボイラー（原油、B・C重油）	tCH ₄ /kl	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kl	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.00000010
		ボイラー（原油、B・C重油及びバイオマス燃料を除く液体燃料）	tCH ₄ /kl	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kl	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.00000026
		ボイラー（バイオマス燃料を除く気体燃料）	tCH ₄ /1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.00000023
		ボイラー（発電施設）（木材・廃材）	tCH ₄ /t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.00000020
		ボイラー（熱利用施設）（木材・廃材）	tCH ₄ /t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.000016
		ボイラー（黒液直接利用）	tCH ₄ /t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.0000043
		ボイラー（バイオガス）	tCH ₄ /1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.0000009
		ボイラー（その他バイオマス）	tCH ₄ /t,kl,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t,kl,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.000016
		金属（銅、鉛及び亜鉛を除く。）精錬用焼結炉（バイオマス燃料を除く。）	tCH ₄ /t,kl,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t,kl,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.000031
		鉄鋼用又は非鉄金属用ペレット焼成炉（バイオマス燃料を除く。）	tCH ₄ /t,kl,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t,kl,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.0000017
		金属圧延加熱炉、金属熱処理炉、金属鍛造炉（バイオマス燃料を除く固体燃料）	tCH ₄ /t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.000013
金属圧延加熱炉、金属熱処理炉、金属鍛造炉（バイオマス燃料を除く液体燃料及び気体燃料）	tCH ₄ /kl,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kl,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.00000043		

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案（2/12）

算定対象活動	算定式	排出係数			燃料種別の発熱量		炉種・燃料種別の排出係数	
		区分	単位	値	単位	値	単位	値
燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用	(燃料種・炉種ごとに) 燃料使用量×単位使用量当たりの発熱量×単位発熱量当たりの排出量	石油加熱炉、ガス加熱炉（バイオマス燃料を除く固体燃料）	tCH ₄ /t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.000013
		石油加熱炉、ガス加熱炉（バイオマス燃料を除く液体燃料及び気体燃料）	tCH ₄ /kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kL,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.00000016
		触媒再生塔（石炭及びバイオマス燃料を除く固体燃料）	tCH ₄ /t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.000000054
		レンガ焼成炉、陶磁器焼成炉、その他の焼成炉（バイオマス燃料を除く。）	tCH ₄ /t,kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t,kL,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.0000015
		骨材乾燥炉、セメント原料乾燥炉、レンガ原料乾燥炉（バイオマス燃料を除く固体燃料、液体燃料及び気体燃料）	tCH ₄ /t,kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t,kL,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.000029
		その他乾燥炉（バイオマス燃料を除く。）	tCH ₄ /t,kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t,kL,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.0000066
		その他工業炉（バイオマス燃料を除く固体燃料）	tCH ₄ /t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.000013
		その他工業炉（バイオマス燃料を除く液体燃料）	tCH ₄ /kL	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kL	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.00000083
		その他工業炉（バイオマス燃料を除く気体燃料）	tCH ₄ /1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.0000023
		ガスタービン（航空機又は船舶に用いられるものを除く。）（バイオマス燃料を除く液体燃料及び気体燃料）	tCH ₄ /kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kL,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.00000081
		ディーゼル機関（自動車、鉄道車両又は船舶に用いられるものを除く。）（バイオマス燃料を除く液体燃料及び気体燃料）	tCH ₄ /kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kL,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.00000070
		ガス機関（航空機、自動車又は船舶に使われるものを除く、液体燃料、気体燃料）	tCH ₄ /kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kL,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.000054
ガソリン機関（航空機、自動車又は船舶に使われるものを除く、液体燃料、気体燃料）	tCH ₄ /kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kL,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照）	tCH ₄ /GJ	0.000054		

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案（3/12）

算定対象活動	算定式	排出係数			燃料種別の発熱量		炉種・燃料種別の排出係数	
		区分	単位	値	単位	値	単位	値
燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用	(燃料種・炉種ごとに) 燃料使用量×単位使用量当たりの発熱量×単位発熱量当たりの排出量	業務用のこんろ、湯沸器、ストーブその他の事業者が事業活動の用に供する機械器具 (バイオマス燃料を除く固体燃料)	tCH ₄ /t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照)	tCH ₄ /GJ	0.00029
		業務用のこんろ、湯沸器、ストーブその他の事業者が事業活動の用に供する機械器具 (バイオマス燃料を除く液体燃料)	tCH ₄ /kL	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kL	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照)	tCH ₄ /GJ	0.000010
		業務用のこんろ、湯沸器、ストーブその他の事業者が事業活動の用に供する機械器具 (バイオマス燃料を除く気体燃料)	tCH ₄ /kL	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/kL	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照)	tCH ₄ /GJ	0.0000045
		業務用のこんろ、湯沸器、ストーブその他の事業者が事業活動の用に供する機械器具 (バイオマス燃料)	tCH ₄ /t,kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t,kL,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別の発熱量を参照)	tCH ₄ /GJ	0.00029
		セメント焼成炉以外の工業炉 (ごみ固形燃料 (RPF))	tCH ₄ /t	0.000003	GJ/t	26.88	tCH ₄ /GJ	0.00000013
		セメント焼成炉 (ごみ固形燃料 (RPF))	tCH ₄ /t	0.000352	GJ/t	26.88	tCH ₄ /GJ	0.000013
		ごみ固形燃料 (RDF)	tCH ₄ /t	※ごみ固形燃料 (RDF) の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	18.00	tCH ₄ /GJ	※使用する炉種・燃料種別に代入
		廃プラスチック類から製造される燃料油 (自ら製造するものを除く。)	tCH ₄ /t	※廃プラスチック類から製造される燃料油 (自ら製造するものを除く。) の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	38.00	tCH ₄ /GJ	※使用する炉種・燃料種別に代入
		廃油、廃油から製造される燃料油	tCH ₄ /t	※廃油の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	40.20	tCH ₄ /GJ	※使用する炉種・燃料種別に代入
		廃ゴムタイヤ	tCH ₄ /t	※廃ゴムタイヤの発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	33.20	tCH ₄ /GJ	※使用する炉種・燃料種別に代入
		廃プラスチック類 (廃ゴムタイヤを除く。)	tCH ₄ /t	※廃プラスチック類 (廃ゴムタイヤを除く。) の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	29.30	tCH ₄ /GJ	※使用する炉種・燃料種別に代入
		木くず	tCH ₄ /t	※木くずの発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	14.40	tCH ₄ /GJ	※使用する炉種・燃料種別に代入

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案 (4/12)

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
電気炉（製鉄用、製鋼用、合金鉄製造用、カーバイド製造用）における電気の使用	電気使用量×単位使用量当たりの排出量	—	tCH ₄ /kWh	0.000000046
石炭の採掘	坑内掘生産量×（排出される時期ごとに）単位生産量当たりの排出量	坑内掘における採掘時	tCH ₄ /t	0.0015
		坑内掘における採掘後の工程時	tCH ₄ /t	0.0017
	露天掘生産量×（排出される時期ごとに）単位生産量当たりの排出量	露天掘における採掘時	tCH ₄ /t	0.00080
		露天掘における採掘後の工程時	tCH ₄ /t	0.000067
木炭の製造	製造量×単位製造量当たりの排出量	—	tCH ₄ /t	0.040
原油又は天然ガスの試掘	試掘された坑井数×単位井数当たりの排出量	—	tCO ₂ /井数	0.00043
原油又は天然ガスの性状に関する試験の実施	性状に関する試験が行われた坑井数×単位実施井数当たりの排出量	—	tCH ₄ /井数	0.27
原油又は天然ガスの生産	原油（コンデンセートを除く。）生産量×単位生産量当たりの排出量	生産時の通気弁	tCH ₄ /kL	0.00072
		生産時の通気弁以外の施設（陸上）	tCH ₄ /kL	0.0018
		生産時の通気弁以外の施設（海上）	tCH ₄ /kL	0.00000059
		随伴ガスの焼却を行う場合	tCH ₄ /kL	0.000025
	天然ガス生産量×単位生産量当たりの排出量	生産時の生産井施設（陸上）	tCH ₄ /Nm ³	0.0000023
		生産時の生産井施設（海上）	tCH ₄ /Nm ³	0.00000038
		生産時の成分調整等の処理施設	tCH ₄ /Nm ³	0.00000076
		天然ガスの採取時に随伴ガスの焼却を行う場合	tCH ₄ /Nm ³	0.0000000076
		天然ガスの処理時に随伴ガスの焼却を行う場合	tCH ₄ /Nm ³	0.000000012
		生産された坑井数×単位井数当たりの点検に伴う排出量	原油又は天然ガスの生産に係る坑井の点検	tCH ₄ /井数

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案 (5/12)

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
原油の輸送	原油輸送量×単位輸送量当たりの排出量	原油（パイプライン）	tCH ₄ /kL	0.0000054
		原油（タンクローリー、タンク貨車）	tCH ₄ /kL	0.000025
		コンデンセート	tCH ₄ /kL	0.00011
原油の精製	コンデンセート精製量×単位精製量当たりの排出量	コンデンセートの貯蔵	tCH ₄ /kL	0.000000026
		コンデンセートの精製	tCH ₄ /kL	0.0000024
	原油（コンデンセートを除く。）精製量×単位精製量当たりの排出量	原油の貯蔵	tCH ₄ /kL	0.000000029
		原油の精製	tCH ₄ /kL	0.0000026
天然ガスの輸送	天然ガス輸送量×単位輸送量当たりの排出量	—	tCH ₄ /m ³	0.00000012
都市ガスの製造又は供給	(原料種ごとに) 原料使用量×単位使用量当たりの排出量	液化天然ガス（LNG）	tCH ₄ /PJ	0.26
		天然ガス（液化天然ガス（LNG）を除く。）	tCH ₄ /PJ	0.26
	都市ガス供給量×単位供給量当たりの排出量	—	tCH ₄ /m ³	0.000000010
地熱発電	蒸気生産量×単位生産量当たりの排出量	—	tCH ₄ /t	0.000015
カーボンブラック等化学製品の製造	(製品の種類ごとに) 製品製造量×単位製造量当たりの排出量	カーボンブラック	tCH ₄ /t	0.029
		コークス	tCH ₄ /t	0.00012
		エチレン（エタンからの製造）	tCH ₄ /t	0.0060
		エチレン（ナフサからの製造）	tCH ₄ /t	0.0030
		エチレン（その他原料からの製造）	tCH ₄ /t	0.0030
		酸化エチレン	tCH ₄ /t	0.0018
		スチレン	tCH ₄ /t	0.000031

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案 (6/12)

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
家畜の飼養 (消化管内発酵)	(家畜種ごとに) 平均的な飼養頭数×単位飼養頭数当たりの体内からの排出量	乳用牛	tCH ₄ /頭	0.10
		肉用牛	tCH ₄ /頭	0.063
		馬	tCH ₄ /頭	0.018
		めん羊	tCH ₄ /頭	0.0080
		山羊	tCH ₄ /頭	0.0050
		豚	tCH ₄ /頭	0.0014
		水牛	tCH ₄ /頭	0.055
		家畜の排せつ物の管理	(家畜のふん尿の管理方法ごとに) ふん尿中の有機物量×単位有機物量当たりの管理に伴う排出量	牛 (天日乾燥)
牛 (火力乾燥)	tCH ₄ /t			0.00
乳用牛 (強制発酵)	tCH ₄ /t			0.0011
肉用牛 (強制発酵)	tCH ₄ /t			0.0011
乳用牛 (堆積発酵)	tCH ₄ /t			0.038
肉用牛 (堆積発酵)	tCH ₄ /t			0.0013
牛 (焼却)	tCH ₄ /t			0.0040
牛 (浄化)	tCH ₄ /t			0.0030
乳用牛 (貯留)	tCH ₄ /t			0.023
肉用牛 (貯留)	tCH ₄ /t			0.034
乳用牛 (ふんのメタン発酵)	tCH ₄ /t			0.038
肉用牛 (ふんのメタン発酵)	tCH ₄ /t			0.0013
乳用牛 (尿又はふん尿混合のメタン発酵)	tCH ₄ /t			0.030
肉用牛 (尿又はふん尿混合のメタン発酵)	tCH ₄ /t			0.035
乳用牛 (産業廃棄物処理)	tCH ₄ /t			0.023
肉用牛 (産業廃棄物処理)	tCH ₄ /t			0.034
乳用牛 (ふんのその他処理)	tCH ₄ /t			0.038
肉用牛 (ふんのその他処理)	tCH ₄ /t			0.0040
乳用牛 (尿又はふん尿混合のその他処理)	tCH ₄ /t			0.038
肉用牛 (尿又はふん尿混合のその他処理)	tCH ₄ /t			0.040

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案 (7/12)

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
家畜の排せつ物の管理	(家畜のふん尿の管理方法ごとに) ふん尿中の有機物量×単位有機物量当たりの管理に伴う排出量	豚 (天日乾燥)	tCH ₄ /t	0.0020
		豚 (火力乾燥)	tCH ₄ /t	0.00
		豚 (ふん又はふん尿混合の強制発酵)	tCH ₄ /t	0.00080
		豚 (尿の強制発酵)	tCH ₄ /t	0.00302
		豚 (堆積発酵)	tCH ₄ /t	0.0016
		豚 (焼却)	tCH ₄ /t	0.0040
		豚 (浄化)	tCH ₄ /t	0.0091
		豚 (貯留)	tCH ₄ /t	0.092
		豚 (ふんのメタン発酵)	tCH ₄ /t	0.0016
		豚 (尿又はふん尿混合のメタン発酵)	tCH ₄ /t	0.036
		豚 (産業廃棄物処理)	tCH ₄ /t	0.092
		豚 (ふんのその他処理)	tCH ₄ /t	0.0040
		豚 (尿又はふん尿混合のその他処理)	tCH ₄ /t	0.106
		鶏 (天日乾燥)	tCH ₄ /t	0.0014
		鶏 (火力乾燥)	tCH ₄ /t	0.00
		鶏 (炭化处理)	tCH ₄ /t	0.00
		鶏 (ふんの強制発酵)	tCH ₄ /t	0.00080
		採卵鶏 (堆積発酵)	tCH ₄ /t	0.0013
		ブロイラー (堆積発酵)	tCH ₄ /t	0.00020

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案（8/12）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
家畜の排せつ物の管理	(家畜のふん尿の管理方法ごとに) ふん尿中の有機物量×単位有機物量当たりの管理に伴う排出量	鶏（焼却）	tCH ₄ /t	0.0040
		採卵鶏（貯留）	tCH ₄ /t	0.0013
		ブロイラー（貯留）	tCH ₄ /t	0.00020
		採卵鶏（ふんのメタン発酵）	tCH ₄ /t	0.0013
		ブロイラー（ふんのメタン発酵）	tCH ₄ /t	0.00020
		採卵鶏（産業廃棄物処理）	tCH ₄ /t	0.0013
		ブロイラー（産業廃棄物処理）	tCH ₄ /t	0.00020
		鶏（ふんのその他処理）	tCH ₄ /t	0.0040
	(家畜種ごとに) 平均的な飼養頭数×単位飼養頭数当たりのふん尿からの排出量	馬	tCH ₄ /頭	0.0023
		めん羊	tCH ₄ /頭	0.00028
		山羊	tCH ₄ /頭	0.00020
		水牛	tCH ₄ /頭	0.0020
		うさぎ	tCH ₄ /頭	0.000080
		ミンク	tCH ₄ /頭	0.00068
	(家畜種ごとに) 平均的な放牧頭羽数×単位放牧頭羽数当たりのふん尿からの排出量	放牧牛	tCH ₄ /頭	0.0010
放牧鶏		tCH ₄ /羽	0.0000061	

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案 (9/12)

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
稲作	(水田種ごとに) 作付面積×単位面積当たりの排出量	間断灌漑水田	tCH ₄ /m ²	0.000039
		常時湛水田	tCH ₄ /m ²	0.000029
農業廃棄物の焼却	(農業廃棄物の種類ごとに) 農業廃棄物の屋外焼却量×単位焼却量当たりの排出量	水稻	tCH ₄ /t	0.0022
		麦類	tCH ₄ /t	0.0024
		とうもろこし、いも類、その他作物(そば、たばこ等)	tCH ₄ /t	0.0022
		豆类	tCH ₄ /t	0.0022
		てんさい	tCH ₄ /t	0.0022
		さとうきび	tCH ₄ /t	0.0022
		野菜類	tCH ₄ /t	0.0022
廃棄物の埋立処分	(廃棄物の種類ごとに) 最終処分場に埋め立てられた廃棄物量×単位廃棄物量当たりの排出量	食物くず(厨芥類)(嫌気性埋立)	tCH ₄ /t	0.15
		食物くず(厨芥類)(準好気性埋立)	tCH ₄ /t	0.072
		紙くず(嫌気性埋立)	tCH ₄ /t	0.14
		紙くず(準好気性埋立)	tCH ₄ /t	0.068
		天然繊維くず(嫌気性埋立)	tCH ₄ /t	0.15
		天然繊維くず(準好気性埋立)	tCH ₄ /t	0.075
		木くず(嫌気性埋立)	tCH ₄ /t	0.15
		木くず(準好気性埋立)	tCH ₄ /t	0.075
		消化汚泥由来の汚泥(嫌気性埋立)	tCH ₄ /t	0.10
		消化汚泥由来の汚泥(準好気性埋立)	tCH ₄ /t	0.050
		その他下水汚泥(嫌気性埋立)	tCH ₄ /t	0.13
		その他下水汚泥(準好気性埋立)	tCH ₄ /t	0.067

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案 (10/12)

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
廃棄物の埋立処分	(廃棄物の種類ごとに) 最終処分場に埋め立てられた廃棄物量×単位廃棄物量当たりの排出量	し尿処理施設又は浄化槽に係る汚泥 (嫌気性埋立)	tCH ₄ /t	0.13
		し尿処理施設又は浄化槽に係る汚泥 (準好気性埋立)	tCH ₄ /t	0.067
		浄水施設に係る汚泥 (嫌気性埋立)	tCH ₄ /t	0.020
		浄水施設に係る汚泥 (準好気性埋立)	tCH ₄ /t	0.010
		製造業に係る有機性の汚泥 (嫌気性埋立)	tCH ₄ /t	0.15
		製造業に係る有機性の汚泥 (準好気性埋立)	tCH ₄ /t	0.075
		動物のふん尿 (嫌気性埋立)	tCH ₄ /t	0.13
		動物のふん尿 (準好気性埋立)	tCH ₄ /t	0.067
工場廃水の処理	工場廃水処理施設流入水に含まれる生物化学的酸素要求量で表示した汚濁負荷量×単位生物化学的酸素要求量当たりの工場廃水処理に伴う排出量	食料品製造業	tCH ₄ /kgBOD	0.0000012
		パルプ・紙・紙加工品製造業	tCH ₄ /kgBOD	0.0000025
		化学工業	tCH ₄ /kgBOD	0.0000092
		鉄鋼業	tCH ₄ /kgBOD	0.0000073
		その他業種	tCH ₄ /kgBOD	0.0000030

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案 (11/12)

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
下水、し尿等の処理	終末処理場における下水処理量×単位処理量当たりの排出量	終末処理場	tCH ₄ /m ³	0.00000088
		(し尿処理方法ごとに) し尿及び浄化槽汚泥処理量×単位処理量当たりの排出量	し尿処理施設 (嫌気性消化処理)	tCH ₄ /m ³
	し尿処理施設 (好気性消化処理)		tCH ₄ /m ³	0.0000055
	し尿処理施設 (高負荷生物学的脱窒素処理)		tCH ₄ /m ³	0.0000050
	し尿処理施設 (生物学的脱窒素処理 (標準脱窒素処理))		tCH ₄ /m ³	0.0000059
	し尿処理施設 (膜分離処理)		tCH ₄ /m ³	0.0000055
	し尿処理施設 (その他処理)		tCH ₄ /m ³	0.0000055
	(施設種ごとに) 処理対象人員×単位人員当たりの排出量		コミュニティ・プラント	tCH ₄ /人
		単独処理浄化槽	tCH ₄ /人	0.00046
		合併処理浄化槽 (窒素除去型高度処理、窒素・リン除去型高度処理又はBOD除去型高度処理の性能評価型に限る。)	tCH ₄ /人	0.00104
		合併処理浄化槽 (その他性能評価型)	tCH ₄ /人	0.00198
		合併処理浄化槽 (構造例示型)	tCH ₄ /人	0.00248
		くみ取便所の便槽	tCH ₄ /人	0.00006
廃棄物の焼却若しくは製品の製造の用途への使用又は廃棄物の堆肥化処理	(炉種・廃棄物の種類ごとに) 焼却・使用量×単位焼却・使用量当たりの排出量	一般廃棄物の焼却：全連続燃焼式焼却施設	tCH ₄ /t	0.0000026
		一般廃棄物の焼却：准連続燃焼式焼却施設	tCH ₄ /t	0.000021
		一般廃棄物の焼却：バッチ燃焼式焼却施設	tCH ₄ /t	0.000011
		一般廃棄物の焼却：ガス化溶融炉	tCH ₄ /t	0.000069

CH₄の算定対象活動・算定式・排出係数案 (12/12)

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
廃棄物の焼却若しくは製品の製造の用途への使用又は廃棄物の堆肥化処理	(炉種・廃棄物の種類ごとに) 焼却・使用量×単位焼却・使用量当たりの排出量	産業廃棄物の焼却：廃油	tCH ₄ /t	0.0000040
		産業廃棄物の焼却：廃プラスチック類	tCH ₄ /t	0.0000080
		産業廃棄物の焼却：紙くず、木くず	tCH ₄ /t	0.000225
		産業廃棄物の焼却：天然繊維くず	tCH ₄ /t	0.000225
		産業廃棄物の焼却：動植物性残渣、動物の死体	tCH ₄ /t	0.000225
		産業廃棄物の焼却：汚泥	tCH ₄ /t	0.0000015
		産業廃棄物の焼却：感染性廃棄物（廃プラスチック類以外）	tCH ₄ /t	0.000225
		セメント焼成における廃ゴムタイヤの製品の製造の用途への使用	tCH ₄ /t	0.00043
		セメント焼成における廃プラスチック類（廃ゴムタイヤを除く。）の製品の製造の用途への使用	tCH ₄ /t	0.00038
		(廃棄物の種類ごとに) 堆肥化処理量×単位堆肥化処理量当たりの排出量	一般廃棄物（木くず（剪定枝）に限る。）	tCH ₄ /t
一般廃棄物（木くず（剪定枝）を除く。）、産業廃棄物	tCH ₄ /t		0.00096	

N₂Oの算定対象活動・算定式・排出係数案（1/10）

算定対象活動	算定式	排出係数			燃料種別の発熱量		炉種・燃料種別の排出係数	
		区分	単位	値	単位	値	単位	値
燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用	(燃料種・炉種ごとに) 燃料使用量×単位使用量当たりの発熱量×単位発熱量当たりの排出量	常圧流動床ボイラー（バイオマス燃料を除く固体燃料）	tN2O/t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.000054
		加圧流動床ボイラー（一般炭）	tN2O/t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.000052
		加圧流動床ボイラー（一般炭及びバイオマス燃料を除く固体燃料）	tN2O/t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.0000085
		流動床以外のボイラー（バイオマス燃料を除く固体燃料）	tN2O/t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.0000085
		ボイラー（原油、B・C重油）	tN2O/kL	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/kL	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.0000022
		ボイラー（原油、B・C重油及びバイオマス燃料を除く液体燃料）	tN2O/kL	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/kL	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.0000019
		ボイラー（バイオマス燃料を除く気体燃料）	tN2O/1,000Nm3	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/1,000Nm3	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.0000017
		ボイラー（発電施設）（木材・廃材）	tN2O/t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.0000087
		ボイラー（熱利用施設）（木材・廃材）	tN2O/t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.000016
		ボイラー（黒液直接利用）	tN2O/t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.0000017
		ボイラー（バイオガス）	tN2O/1,000Nm3	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/1,000Nm3	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.00000090
		ボイラー（その他バイオマス燃料）	tN2O/t,kL,1,000Nm3	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/t,kL,1,000Nm3	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.000016
鉄鋼用又は非鉄金属用溶鉱炉、転炉、平炉（コークス炉ガス、高炉ガス）	tN2O/1,000Nm3	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/1,000Nm3	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.00000047		

N₂Oの算定対象活動・算定式・排出係数案（2/10）

算定対象活動	算定式	排出係数			燃料種別の発熱量		炉種・燃料種別の排出係数	
		区分	単位	値	単位	値	単位	値
燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用	(燃料種・炉種ごとに) 燃料 使用量×単位使用量当たりの 発熱量×単位発熱量当たりの 排出量	石油加熱炉、ガス加熱炉（他 重質石油製品、オイルコーク ス）	tN ₂ O/t	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.00000115
		石油加熱炉、ガス加熱炉（他 重質石油製品、オイルコークス 及びバイオマス燃料を除く固体 燃料）	tN ₂ O/t	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.0000011
		石油加熱炉、ガス加熱炉（バイ オマス燃料を除く液体燃料及び 気体燃料）	tN ₂ O/kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/kL,1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.00000021
		触媒再生塔（石炭及びバイオ マス燃料を除く固体燃料）	tN ₂ O/t	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.0000073
		コークス炉（液化石油ガス、輸 入天然ガス及びバイオマス燃料 を除く気体燃料）	tN ₂ O/1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.00000014
		その他工業炉（バイオマス燃料 を除く固体燃料）	tN ₂ O/t	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.0000011
		その他工業炉（バイオマス燃料 を除く液体燃料）	tN ₂ O/kL	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/kL	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.0000018
		その他工業炉（バイオマス燃料 を除く気体燃料）	tN ₂ O/1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/1,000Nm ³	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.0000012
		ガスタービン（航空機又は船舶 に用いられるものを除く。）（バ イオマス燃料を除く液体燃料及 び気体燃料）	tN ₂ O/kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/kL,1000Nm ³	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.00000058
		ディーゼル機関（自動車、鉄道 車両又は船舶に用いられるもの を除く。）（バイオマス燃料を除 く液体燃料及び気体燃料）	tN ₂ O/kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/kL,1000Nm ³	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.0000022
		ガス機関（航空機、自動車又 は船舶に用いられるものを除 く。）（バイオマス燃料を除く液 体燃料及び気体燃料）	tN ₂ O/kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/kL,1000Nm ³	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.00000085
		ガソリン機関（航空機、自動車 又は船舶に用いられるものを除 く。）（バイオマス燃料を除く液 体燃料及び気体燃料）	tN ₂ O/kL,1,000Nm ³	※燃料種別の発熱量×炉 種・燃料種別の排出係数	GJ/kL,1000Nm ³	※使用燃料に応じ代入 (エネ起CO ₂ の燃料種別 の発熱量を参照)	tN ₂ O/GJ	0.00000085

N₂Oの算定対象活動・算定式・排出係数案（3/10）

算定対象活動	算定式	排出係数			燃料種別の発熱量		炉種・燃料種別の排出係数	
		区分	単位	値	単位	値	単位	値
燃料の燃焼の用に供する施設及び機械器具における燃料の使用	(燃料種・炉種ごとに) 燃料使用量×単位使用量当たりの発熱量×単位発熱量当たりの排出量	業務用のこんろ、湯沸器、ストーブその他の事業者が事業活動の用に供する機械器具（バイオマス燃料を除く固体燃料）	tN2O/t	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/t	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.0000014
		業務用のこんろ、湯沸器、ストーブその他の事業者が事業活動の用に供する機械器具（バイオマス燃料を除く液体燃料）	tN2O/kL	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/kL	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.00000057
		業務用のこんろ、湯沸器、ストーブその他の事業者が事業活動の用に供する機械器具（バイオマス燃料を除く気体燃料）	tN2O/1,000Nm3	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/1,000Nm3	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.00000090
		業務用のこんろ、湯沸器、ストーブその他の事業者が事業活動の用に供する機械器具（バイオマス燃料）	tN2O/t,kL,1,000Nm3	※燃料種別の発熱量×炉種・燃料種別の排出係数	GJ/t,kL,1,000Nm3	※使用燃料に応じ代入（エネ起CO2の燃料種別の発熱量を参照）	tN2O/GJ	0.0000038
		セメント焼成炉以外の工業炉（ごみ固形燃料（RPF））	tN2O/t	0.000023	GJ/t	26.88	tN2O/t	0.00000085
		セメント焼成炉（ごみ固形燃料（RPF））	tN2O/t	0.000030	GJ/t	26.88	tN2O/t	0.0000011
		ごみ固形燃料（RDF）	tN2O/t	※ごみ固形燃料（RDF）の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	18.00	tN2O/t	※使用する炉種・燃料種別に代入
		廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く。）	tN2O/t	※廃プラスチック類から製造される燃料油（自ら製造するものを除く。）の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	38.00	tN2O/t	※使用する炉種・燃料種別に代入
		廃油、廃油から製造される燃料油	tN2O/t	※廃油の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	40.20	tN2O/t	※使用する炉種・燃料種別に代入
		廃ゴムタイヤ	tN2O/t	※廃ゴムタイヤの発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	33.20	tN2O/t	※使用する炉種・燃料種別に代入
		廃プラスチック類（廃ゴムタイヤを除く。）	tN2O/t	※廃プラスチック類（廃ゴムタイヤを除く。）の発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	29.30	tN2O/t	※使用する炉種・燃料種別に代入
		木くず	tN2O/t	※木くずの発熱量×炉種・燃料種別のメタン排出係数	GJ/t	14.40	tN2O/t	※使用する炉種・燃料種別に代入

N₂Oの算定対象活動・算定式・排出係数案（4/10）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
木炭の製造	製造量×単位製造量当たりの排出量	—	tN ₂ O/t	0.000080
原油又は天然ガスの性状に関する試験の実施	性状に関する試験が行われた井数×単位実施井数当たりの排出量	—	tN ₂ O/井数	0.000068
原油又は天然ガスの生産	原油（コンデンセートを除く。）生産量×単位生産量当たりのフレアリングによる排出量	随伴ガスの焼却を行う場合	tN ₂ O/kL	0.00000064
		天然ガスの採取時に随伴ガスの焼却を行う場合	tN ₂ O/Nm ³	0.000000000021
		天然ガスの処理時に随伴ガスの焼却を行う場合	tN ₂ O/Nm ³	0.000000000025
アジピン酸等化学製品の製造	（製品の種類ごとに）製品製造量×単位製造量当たりの排出量	アジピン酸	tN ₂ O/t	0.30
		硝酸	tN ₂ O/t	0.0033
		カプロラクタム	tN ₂ O/t	0.0090
麻酔剤の使用	麻酔剤としてのN ₂ O使用量	—	—	—
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるN ₂ Oの使用	使用量×単位使用量当たりの排出量－回収・適正処理量	—	tN ₂ O/tN ₂ O	1

N₂Oの算定対象活動・算定式・排出係数案（5/10）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
家畜の排せつ物の管理	(家畜のふん尿の管理方法ごとに) ふん尿中の窒素量 ×単位窒素量当たりの管理に伴う排出量	牛(天日乾燥)	tN ₂ O/tN	0.031
		牛(火力乾燥)	tN ₂ O/tN	0.031
		牛(ふんの強制発酵)	tN ₂ O/tN	0.0039
		牛(尿の強制発酵)	tN ₂ O/tN	0.0094
		乳用牛(ふん尿混合の強制発酵)	tN ₂ O/tN	0.0094
		肉用牛(ふん尿混合の強制発酵)	tN ₂ O/tN	0.0039
		乳用牛(堆積発酵)	tN ₂ O/tN	0.038
		肉用牛(堆積発酵)	tN ₂ O/tN	0.025
		牛(焼却)	tN ₂ O/tN	0.0016
		牛(浄化)	tN ₂ O/tN	0.045
		乳用牛(貯留)	tN ₂ O/tN	0.00031
		肉用牛(貯留)	tN ₂ O/tN	0.00
		乳用牛(ふんのメタン発酵)	tN ₂ O/tN	0.038
		肉用牛(ふんのメタン発酵)	tN ₂ O/tN	0.025
		乳用牛(尿又はふん尿混合のメタン発酵)	tN ₂ O/tN	0.0024
		肉用牛(尿又はふん尿混合のメタン発酵)	tN ₂ O/tN	0.0024
		乳用牛(産業廃棄物処理)	tN ₂ O/tN	0.00031
		肉用牛(産業廃棄物処理)	tN ₂ O/tN	0.00
		乳用牛(ふんのその他処理)	tN ₂ O/tN	0.038
		肉用牛(ふんのその他処理)	tN ₂ O/tN	0.031
乳用牛(尿又はふん尿混合のその他処理)	tN ₂ O/tN	0.045		
肉用牛(尿又はふん尿混合のその他処理)	tN ₂ O/tN	0.045		

N₂Oの算定対象活動・算定式・排出係数案（6/10）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
家畜の排せつ物の管理	(家畜のふん尿の管理方法ごとに) ふん尿中の窒素量 ×単位窒素量当たりの管理に伴う排出量	豚(天日乾燥)	tN ₂ O/tN	0.031
		豚(火力乾燥)	tN ₂ O/tN	0.031
		豚(ふんの強制発酵)	tN ₂ O/tN	0.0025
		豚(尿の強制発酵)	tN ₂ O/tN	0.0094
		豚(ふん尿混合の強制発酵)	tN ₂ O/tN	0.0025
		豚(堆積発酵)	tN ₂ O/tN	0.039
		豚(焼却)	tN ₂ O/tN	0.0016
		豚(浄化)	tN ₂ O/tN	0.045
		豚(貯留)	tN ₂ O/tN	0.00
		豚(ふんのメタン発酵)	tN ₂ O/tN	0.039
		豚(尿又はふん尿混合のメタン発酵)	tN ₂ O/tN	0.0024
		豚(産業廃棄物処理)	tN ₂ O/tN	0.00
		豚(ふんのお他処理)	tN ₂ O/tN	0.039
		豚(尿又はふん尿混合のお他処理)	tN ₂ O/tN	0.045
		鶏(天日乾燥)	tN ₂ O/tN	0.0052
		鶏(火力乾燥)	tN ₂ O/tN	0.031
		鶏(炭化处理)	tN ₂ O/tN	0.031
		鶏(強制発酵)	tN ₂ O/tN	0.0025
		採卵鶏(堆積発酵)	tN ₂ O/tN	0.0085
		ブロイラー(堆積発酵)	tN ₂ O/tN	0.0013
		鶏(焼却)	tN ₂ O/tN	0.0016
		採卵鶏(貯留)	tN ₂ O/tN	0.0085
		ブロイラー(貯留)	tN ₂ O/tN	0.0013
		採卵鶏(メタン発酵)	tN ₂ O/tN	0.0085
		ブロイラー(メタン発酵)	tN ₂ O/tN	0.0013
		採卵鶏(産業廃棄物処理)	tN ₂ O/tN	0.0085
		ブロイラー(産業廃棄物処理)	tN ₂ O/tN	0.0013
		鶏(お他処理)	tN ₂ O/tN	0.031

N₂Oの算定対象活動・算定式・排出係数案（7/10）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
家畜の排せつ物の管理	(家畜のふん尿の管理方法ごとに) 平均的な飼養頭数×単位飼養頭数当たりのふん尿からの排出量	めん羊（固形にし乾燥させることによりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.00065
		めん羊（焼用の用に供することにより又は耕地に散布することによりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.00
		めん羊（その他方法によりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.00033
		山羊（固形にし乾燥させることによりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.00061
		山羊（焼用の用に供することにより又は耕地に散布することによりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.00
		山羊（その他方法によりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.00030
		馬（固形にし乾燥させることによりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.0020
		馬（焼用の用に供することにより又は耕地に散布することによりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.00
		馬（その他方法によりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.00099
		水牛（固形にし乾燥させることによりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.0014
		水牛（焼用の用に供することにより又は耕地に散布することによりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.00
		水牛（その他方法によりそのふん尿の管理が行われるもの）	tN ₂ O/頭	0.0014
		うさぎ	tN ₂ O/頭	0.00025
		ミンク	tN ₂ O/頭	0.00014
家畜種ごとに) 平均的な放牧頭羽数×単位放牧頭羽数当たりのふん尿からの排出量	放牧牛	tN ₂ O/頭	0.00062	
	放牧鶏	tN ₂ O/羽	0.0000029	
耕地又は森林における肥料の使用	(作物種ごとに) 耕地において使用された肥料に含まれる窒素量×単位窒素量当たりの排出量	水稲	tN ₂ O/tN	0.0049
		茶樹	tN ₂ O/tN	0.046
		その他作物	tN ₂ O/tN	0.0097
	森林において使用された肥料に含まれる窒素量×単位窒素量当たりの排出量	森林	tN ₂ O/tN	0.0097

N₂Oの算定対象活動・算定式・排出係数案（8/10）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
耕地における農作物の残さの肥料としての使用	(作物種ごとに) 土壤にすき込まれた作物残さの乾物量 ×単位作物残さの乾物量当たりの排出量	水稲	tN ₂ O/t	0.00015
		小麦	tN ₂ O/t	0.00068
		二条大麦	tN ₂ O/t	0.00034
		六条大麦	tN ₂ O/t	0.00049
		えん麦	tN ₂ O/t	0.00011
		らい麦	tN ₂ O/t	0.00079
		とうもろこし	tN ₂ O/t	0.00026
		大豆	tN ₂ O/t	0.00010
		小豆	tN ₂ O/t	0.00013
		ばれいしょ	tN ₂ O/t	0.00038
		キャベツ	tN ₂ O/t	0.00029
		はくさい	tN ₂ O/t	0.00011
		たまねぎ	tN ₂ O/t	0.000030
		レタス	tN ₂ O/t	0.00026
		だいこん	tN ₂ O/t	0.00015
		てんさい	tN ₂ O/t	0.00015
		さとうきび	tN ₂ O/t	0.00086
		牧草	tN ₂ O/t	0.00024
ソルガム	tN ₂ O/t	0.00011		

N₂Oの算定対象活動・算定式・排出係数案（9/10）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
農業廃棄物の焼却	(農業廃棄物の種類ごとに) 農業廃棄物の屋外焼却量×単位焼却量当たりの排出量	水稻	tN ₂ O/t	0.000056
		麦類	tN ₂ O/t	0.000063
		とうもろこし、いも類、其他作物(そば、たばこ等)	tN ₂ O/t	0.000056
		豆類	tN ₂ O/t	0.000056
		てんさい	tN ₂ O/t	0.000056
		さとうきび	tN ₂ O/t	0.000056
		野菜類	tN ₂ O/t	0.000056
工場廃水の処理	工場廃水処理施設流入水中の窒素量×単位窒素量当たりの処理に伴う排出量	食料品製造業	tN ₂ O/tN	0.00047
		パルプ・紙・紙加工品製造業	tN ₂ O/tN	0.000014
		化学工業	tN ₂ O/tN	0.017
		鉄鋼業	tN ₂ O/tN	0.0040
		其他業種	tN ₂ O/tN	0.0053
下水、し尿等の処理	終末処理場における下水処理量×単位処理量当たりの排出量	終末処理場(標準活性汚泥法)	tN ₂ O/m ³	0.00000014
		終末処理場(嫌気好気活性汚泥法)	tN ₂ O/m ³	0.00000030
		終末処理場(嫌気無酸素好気法及び循環式硝化脱窒法)	tN ₂ O/m ³	0.00000012
		終末処理場(循環式硝化脱窒型膜分離活性汚泥法)	tN ₂ O/m ³	0.000000011
	(し尿処理方法ごとに) し尿及び浄化槽汚泥中の窒素量×単位窒素量当たりの処理に伴う排出量	し尿処理施設(嫌気性消化処理)	tN ₂ O/tN	0.0000045
		し尿処理施設(好気性消化処理)	tN ₂ O/tN	0.0000045
		し尿処理施設(高負荷生物学的脱窒素処理)	tN ₂ O/tN	0.0029
		し尿処理施設(生物学的脱窒素処理(標準脱窒素処理))	tN ₂ O/tN	0.0000045
		し尿処理施設(膜分離処理)	tN ₂ O/tN	0.0024
		し尿処理施設(其他処理)	tN ₂ O/tN	0.0000045
	(施設種ごとに) 処理対象人員×単位人員当たりの排出量	コミュニティ・プラント	tN ₂ O/人	0.0000048
		単独処理浄化槽	tN ₂ O/人	0.000039
		合併処理浄化槽(窒素除去型高度処理、窒素・リン除去型高度処理又はBOD除去型高度処理の性能評価型に限る。)	tN ₂ O/人	0.00012
		合併処理浄化槽(其他性能評価型)	tN ₂ O/人	0.000055
		合併処理浄化槽(構造例示型)	tN ₂ O/人	0.000072
くみ取便所の便槽		tN ₂ O/人	0.00000022	

N₂Oの算定対象活動・算定式・排出係数案（10/10）

算定対象活動	算定式	排出係数			
		区分	単位	値	
廃棄物の焼却若しくは製品の製造の用途への使用又は 廃棄物の堆肥化处理	(炉種・廃棄物の種類ごとに) 焼却・使用量×単位焼却・使用量当たりの排出量	一般廃棄物の焼却：全連続燃焼式焼却施設	tN ₂ O/t	0.000038	
		一般廃棄物の焼却：准連続燃焼式焼却施設	tN ₂ O/t	0.000073	
		一般廃棄物の焼却：バッチ燃焼式焼却施設	tN ₂ O/t	0.000076	
		一般廃棄物の焼却：ガス化熔融炉	tN ₂ O/t	0.000012	
		下水汚泥（高分子凝集剤を添加して脱水したもの）の流動床炉での焼却（通常燃焼）	tN ₂ O/t	0.0015	
		下水汚泥（高分子凝集剤を添加して脱水したもの）の流動床炉での焼却（高温燃焼）	tN ₂ O/t	0.00065	
		下水汚泥（高分子凝集剤を添加して脱水したもの）の多段炉での焼却	tN ₂ O/t	0.00088	
		下水汚泥（石灰系凝集剤を添加して脱水したもの）の焼却	tN ₂ O/t	0.00029	
		下水汚泥の多段吹込燃焼式流動床炉、二段燃焼式循環流動床炉又はストーカ炉での焼却	tN ₂ O/t	0.00026	
		下水汚泥の炭化固形燃料化炉での焼却	tN ₂ O/t	0.000031	
		その他下水汚泥の焼却	tN ₂ O/t	0.00088	
		汚泥（下水汚泥を除く。）の焼却	tN ₂ O/t	0.000099	
		廃油の焼却	tN ₂ O/t	0.000062	
		廃ゴムタイヤの焼却	tN ₂ O/t	0.000015	
		廃プラスチック類（廃ゴムタイヤを除く。）の焼却	tN ₂ O/t	0.000015	
		紙くず又は木くずの焼却	tN ₂ O/t	0.000077	
		天然繊維くずの焼却	tN ₂ O/t	0.000077	
		動植物性残渣又は家畜の死体の焼却	tN ₂ O/t	0.000077	
		感染性廃棄物（廃プラスチック類以外）の焼却	tN ₂ O/t	0.000077	
		セメント焼成における廃ゴムタイヤの製品の製造の用途への使用	tN ₂ O/t	0.00004	
		セメント焼成における廃プラスチック類（廃ゴムタイヤを除く。）の製品の製造の用途への使用	tN ₂ O/t	0.000032	
		(廃棄物の種類ごとに) 堆肥化处理量×単位堆肥化处理量当たりの排出量			
		一般廃棄物（木くず（剪定枝）に限る。）	tN ₂ O/t	0.0000015	
一般廃棄物（木くず（剪定枝）を除く。）、産業廃棄物	tN ₂ O/t	0.00027			

HFCの算定対象活動・算定式・排出係数案（1/2）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
マグネシウム合金の鋳造	マグネシウム合金の鋳造によるHFC使用量	—	—	—
クロロジフルオロメタン(HCFC-22)の製造	HCFC-22製造量×単位製造量当たりのHFC-23生成量－回収・適正処理量	—	tHFC-23/ tHCFC-22	0.00021
ハイドロフルオロカーボン（HFC）の製造	製造量×単位製造量当たりの排出量	—	tHFC/tHFC	0.0035
家庭用エアコンディショナー等HFC封入製品の製造におけるHFCの封入	(製品種ごとに) 製造時の使用量×単位使用量当たりの排出量	家庭用エアコンディショナー	tHFC/tHFC	0.0010
		業務用冷凍空調機器（自動販売機を除く。）	tHFC/tHFC	0.0020
	(製品種ごとに) 製造台数×単位台数当たりの排出量	自動販売機	tHFC/台	0.0030
		自動車用エアコンディショナー	tHFC/台	0.0000010
業務用冷凍空調機器の使用開始におけるHFCの封入	機器使用開始時の使用量×単位使用量当たりの排出量	業務用冷凍空調機器（自動販売機を除く。）	tHFC/tHFC	0.020

HFCの算定対象活動・算定式・排出係数案（2/2）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
業務用冷凍空調和機器等の整備におけるHFCの回収及び封入	回収時残存量 - 回収・適正処理量 + 再封入時使用量 × 単位使用量当たりの排出量	業務用冷凍空調和機器（自動販売機を除く。）	tHFC/tHFC	0.010
	回収時残存量 - 回収・適正処理量 + 再封入台数 × 単位台数当たりの排出量	自動販売機	tHFC/台	0.0000088
家庭用電気冷蔵庫等HFC封入製品の廃棄におけるHFCの回収	(製品種ごとに) 回収時残存量 - 回収・適正処理量	家庭用電気冷蔵庫	—	—
		家庭用エアコンディショナー	—	—
		業務用冷凍空調和機器（自動販売機を除く。）	—	—
		自動販売機	—	—
		自動車用エアコンディショナー	—	—
プラスチック製造における発泡剤としてのHFCの使用	ポリエチレンフォーム製造時の使用量	ポリエチレンフォーム	—	—
	ウレタンフォーム製造時の使用量 × 単位使用量当たりの排出量	ウレタンフォーム	tHFC/tHFC	0.10
噴霧器の製造におけるHFCの封入	製品製造時の使用量 × 単位使用量当たりの排出量	—	tHFC/tHFC	0.028
噴霧器の使用	製品の使用に伴う排出量	—	—	—
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるHFC等の使用	HFC使用量 × 単位使用量当たりの排出量 - 回収・適正処理量	半導体	tHFC/tHFC	0.40
		液晶	tHFC/tHFC	0.20
	PFC使用量 × 単位使用量当たりの排出量 - 回収・適正処理量	液晶（PFC-c318使用時、HFC-23の副生）	tHFC-23/ tPFC-c318	0.02
溶剤等の用途へのHFCの使用	使用量 - 回収・適正処理量	—	—	—

PFCの算定対象活動・算定式・排出係数案（1/2）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
パーフルオロカーボン（PFC）の製造	製造量×単位製造量当たりの排出量	—	tPFC/tPFC	0.0031
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるPFC等の使用	PFC使用量×単位使用量当たりの排出量－回収・適正処理量	半導体（PFC-14（CF4））	tPFC/tPFC	0.90
		半導体（PFC-116（C2F6））	tPFC/tPFC	0.60
		半導体（PFC-218（C3F8））	tPFC/tPFC	0.40
		半導体（PFC-c318（c-C4F8））	tPFC/tPFC	0.10
		液晶（PFC-14（CF4））	tPFC/tPFC	0.60
		液晶（PFC-116（C2F6））	tPFC/tPFC	1.00
		液晶（PFC-c318（c-C4F8））	tPFC/tPFC	0.10
	HFC使用量×単位使用量当たりの排出量－回収・適正処理量	半導体（HFC-23使用時，PFC-14の副生）	tPFC-14/ tHFC-23	0.07
		液晶（HFC-23使用時，PFC-14の副生）	tPFC-14/ tHFC-23	0.07
		液晶（HFC-23使用時，PFC-116の副生）	tPFC-116/ tHFC-23	0.05

PFCの算定対象活動・算定式・排出係数案（2/2）

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるPFC等の使用	PFC使用量×単位使用量当たりの排出量－回収・適正処理量	半導体（PFC-116使用時、PFC-14の副生）	tPFC-14/ tPFC-116	0.20
		半導体（PFC-218使用時、PFC-14の副生）	tPFC-14/ tPFC-218	0.10
		半導体（PFC-c318使用時、PFC-14の副生）	tPFC-14/ tPFC-c318	0.10
		液晶（PFC-c318使用時、PFC-14の副生）	tPFC-14/ tPFC-c318	0.01
		半導体（PFC-c318使用時、PFC-116の副生）	tPFC-116/ tPFC-c318	0.10
	NF3使用量×単位使用量当たりの排出量－回収・適正処理量	半導体（NF3使用時、PFC-14の副生（リモートプラズマ方式））	tPFC-14/ tNF3	0.02
		半導体（NF3使用時、PFC-14の副生（リモートプラズマ方式以外））	tPFC-14/ tNF3	0.09
光電池の製造におけるPFCの使用	PFC使用量×単位使用量当たりの排出量－回収・適正処理量	PFC-14（CF4）	tPFC/tPFC	0.70
		PFC-116（C2F6）	tPFC/tPFC	0.60
		PFC-218（C3F8）	tPFC/tPFC	0.40
		PFC-c318（c-C4F8）	tPFC/tPFC	0.20
溶剤等の用途へのPFCの使用	使用量－回収・適正処理量	—	—	—
鉄道用シリコン整流器の廃棄	機器廃棄時残存量－回収・適正処理量	—	—	—

SF₆の算定対象活動・算定式・排出係数案

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
マグネシウム合金の鋳造	マグネシウム合金の鋳造によるSF6使用量	—	—	—
六ふっ化硫黄（SF6）の製造	製造量×単位製造量当たりの排出量	—	tSF6/tSF6	0.0013
変圧器等電気機械器具の製造及び使用の開始におけるSF6の封入	機器製造・使用開始時の使用量×単位使用量当たりの排出量	—	tSF6/tSF6	0.019
変圧器等電気機械器具の使用	機器使用開始時に封入されていた量×単位封入量当たりの年間排出量×使用期間の1年間に対する比率	—	tSF6/tSF6/年	0.0010
変圧器等電気機械器具の点検におけるSF6の回収	機器点検時の残存量－回収・適正処理量	—	—	—
変圧器等電気機械器具の廃棄におけるSF6の回収	機器廃棄時残存量－回収・適正処理量	—	—	—
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるSF6の使用	使用量×単位使用量当たりの排出量－回収・適正処理量	半導体	tSF6/tSF6	0.20
		液晶	tSF6/tSF6	0.60
粒子加速器の使用	(粒子加速器の種類ごとに) SF6充填量×単位充填量当たりの排出量	大学・研究施設に設置された粒子加速器	tSF6/tSF6	0.05
		産業用粒子加速器	tSF6/tSF6	0.07
		医療用粒子加速器	tSF6/tSF6	2.00
		小規模（1MeV未満）の電子加速器	tSF6/tSF6	0.07

NF₃の算定対象活動・算定式・排出係数案

算定対象活動	算定式	排出係数		
		区分	単位	値
三ふっ化窒素 (NF ₃) の製造	製造量×単位製造量当たりの排出量	—	tNF ₃ /tNF ₃	0.0002
半導体素子等の加工工程でのドライエッチング等におけるNF ₃ の使用	使用量×単位使用量当たりの排出量－回収・適正処理量	半導体 (リモートプラズマ方式)	tNF ₃ /tNF ₃	0.02
		半導体 (リモートプラズマ方式以外)	tNF ₃ /tNF ₃	0.20
		液晶デバイス (リモートプラズマ方式)	tNF ₃ /tNF ₃	0.03
		液晶デバイス (リモートプラズマ方式以外)	tNF ₃ /tNF ₃	0.30

各ガスの地球温暖化係数の見直しについて

- 国家インベントリにおいて用いる地球温暖化係数の見直し予定を踏まえ、SHK制度において用いる地球温暖化係数を令和6年報告（=令和5年度排出量を算定・報告）から以下のとおりとする。

温室効果ガスの種類	見直し後	現行
二酸化炭素	1	1
メタン	28	25
一酸化二窒素	265	298
トリフルオロメタン	12,400	14,800
ジフルオロメタン	677	675
フルオロメタン	116	92
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	3,170	3,500
1,1,2,2-テトラフルオロエタン	1,120	1,100
1,1,1,2-テトラフルオロエタン	1,300	1,430
1,1,2-トリフルオロエタン	328	353
1,1,1-トリフルオロエタン	4,800	4,470
1,2-ジフルオロエタン	16	53
1,1-ジフルオロエタン	138	124
フルオロエタン	4	12
1,1,1,2,3,3,3-ヘプタフルオロプロパン	3,350	3,220
1,1,1,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	8,060	9,810
1,1,1,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1,330	1,370
1,1,1,2,2,3-ヘキサフルオロプロパン	1,210	1,340
1,1,2,2,3-ペンタフルオロプロパン	716	693
1,1,1,3,3-ペンタフルオロプロパン	858	1,030
1,1,1,3,3-ペンタフルオロブタン	804	794
1,1,1,2,3,4,4,5,5,5-デカフルオロペンタン	1,650	1,640
パーフルオロメタン	6,630	7,390
パーフルオロエタン	11,100	12,200
パーフルオロプロパン	8,900	8,830
パーフルオロシクロプロパン	9,200	17,340
パーフルオロブタン	9,200	8,860
パーフルオロシクロブタン	9,540	10,300
パーフルオロペンタン	8,550	9,160
パーフルオロヘキサン	7,910	9,300
パーフルオロデカリン	7,190	7,500
六ふっ化硫黄	23,500	22,800
三ふっ化窒素	16,100	17,200